

項番	質問・意見	主管課	回答内容
1	「ウォーカブルなまちづくりの推進」について 「歩きたくなるまちづくりに取り組んでいる」とあり、とてもよいコンセプトだと思うのですが、具体的にはどのような取り組みを行っているのでしょうか。 東海村に住んでいて、犬の散歩をしている方などはみかけますし、通勤通学の方が歩いたり自転車で移動しているのはみかけますが、小さい子をつれた方とか若い方が散歩していたりするのを見かけることがやや少ないような気がします。 徒歩移動や自転車移動する人が安全に気持ちよく通れるような道や立ち寄りスポット（公園、緑地、休憩場所のようなどころ）を整備したり、例えば庭先やベランダに植物を植えることを推奨するなど、街並みをよくするといったような試みがあるとよいなと思いました。	地域戦略課 健康増進課 生涯学習課等	「ウォーカブルなまちづくりの推進」においては、庁内に分野横断的なプロジェクトチームを設置し、令和5年度に以下のような取組を行っております。 楽しくウォーキングに取り組むきっかけづくりや継続する意欲の向上、健康促進を目的とした「運動習慣定着化促進事業」として、 ・茨城県公式健康推進アプリ「元気アップ！りいばらき」を活用した村独自のインセンティブ・ポイントの付与 （歩くことの）きっかけづくりモデルイベントとして、 ・令和5年9月開催のスポーツフェスタにおいて、TOKAI2023の種目にノルディックウォーキングを加えました。 ・令和6年3月に村松軌道ノルディックウォーキングを開催しました。 ・村内の歴史・自然スポットにおいて、二次元コードを読み込むと、その土地の伝承等を紹介するコンテンツを準備中です（例：真崎古墳群）。
2	「女性が生き生きと働き、出産・子育てができるまち」について 仕事をする女性にとって、こどもを預けたいときに預けられるというのは大変ありがたいことだと思いますが、（自身の経験から）出産後しばらくは子どもとじっくり時間を共にするというような選択肢が選べるということもすばらしいことだと思います。 そのあたりの支援や、村内の女性が働く職場側へのはたらきかけなどの取り組みもありましたら教えてください。	健康増進課 村民活動支援課	以下、一例になりますが、紹介させていただきます。 【支援】 保健センター内に設置されている「子ども家庭センター「はぐくみ」』は、妊娠・出産・子育てのワンストップ相談窓口としての機能を持ち、マイ保健師が妊産婦やお子さんに関する相談に応じながら、一人ひとりの状況を把握し、母親の気持ちに寄り添いながら支援しています。 【はたらきかけ】 男女共同参画および女性活躍の推進を目指して、仕事と家庭の両立に配慮しながら男女ともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる村内事業所等を「東海村男女共同参画推進事業所」として登録しています。 令和5年6月10日号の広報とうかいでは、令和4年度に新規認定された事業所を紹介し、普及にも努めております。
3	「子育て世代に優しいまち」について 「子育ての環境や支援への満足度」がH30年度比で下がっているのが気になりました。考えられる要因はありますか？	子育て支援課等	「子育ての環境や支援」の範囲は幅広く、複合的な要因があると考えられるため原因を特定することは難しいですが、子育て世帯のニーズ多様化や国の進める「こどもまんなか社会」の実現に対する期待の高さなどが要因として考えられるかと思います。
4	全体として 村としての戦略ということだと、財政面や施設の充実などの話になりがちなのかもしれませんが、街並みづくり、やさしく温かな雰囲気作りといった数字になりにくい部分も大切だと考えます。 「ここに住みたい」「住み続けたい」といった思いの源は案外そういうところも大きかったりするのかなとも思いました。	政策推進課	御意見として頂戴いたします。 ありがとうございます。
5	総合計画と総合戦略の違いは何か。	政策推進課	総合計画は村全体の施策を体系化したものとなります。総合戦略は、少子化対策、子育て支援に焦点をあてたものとなります。
6	総合戦略のみに基づく施策はあるか。	政策推進課	現在、村の施策は総合計画に基づいたものとなっているため、総合計画に関連したものとなっております。